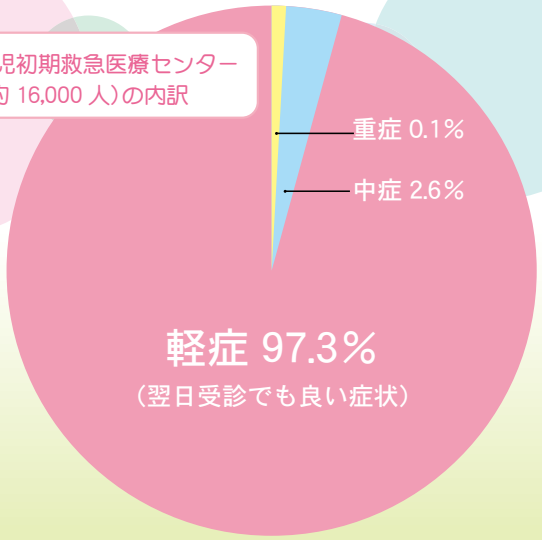
小児救急

～上手なかかり方～

令和６年度小児初期救急医療センター受診者（約 16,000 人）の内訳



軽症で、緊急性がないのに受診する人が増えています。小児初期救急医療センターは、翌日かかりつけ医を受診するまでの間のお子様の生命を守るために、応急の診察と治療を行う施設です。その日を安全に過ごしていただくために必要な診療のみを行っています。病気が治癒するために必要な検査や治療は、かかりつけ医でお願いします。

お子様の身体の調子が悪い時や、成長や発達で心配なことがある場合は、かかりつけの家庭医で診察を受け、必要に応じて病気の診断のための検査や治療を受けていただくのが最善の方法です。しかし、夜間や休日に急に具合が悪くなり、どうしたら良いのか困ってしまうこともあるかもしれません。普段からかかりつけ医に急病の際の対応策を教えてもらっておくことがとても大切です。

受診の前には、次の方法によりぜひご確認・ご相談をお願いします。

山梨県内における乳幼児の年間医療費は約 60 億円となっています。このお金にはみなさんの保険料と税金が使われています。

発熱・けいれん・せき・ぜんそく・下痢・嘔吐・腹痛等の症状の時

①症状をよく観察し、経過を記録する。
②「こども救急ガイドブック」を利用する。
③日本小児科学会ホームページ「こどもの救急」を参考にする。

大丈夫な様子なら通常診療時間にかかりつけ医へ受診 or 判断がつかない場合 or 受診が必要と判断した場合

TEL

②「小児救急電話相談」を利用する。

小児に精通した看護師が、急な病気に関する相談を行っています。

※慢性疾患や育児相談など、急を要しない相談はご遠慮ください。
※電話での助言であり、診断、治療はできませんので、あらかじめご了承ください。
※話し中の場合は、恐れ入りますが、少し時間をおいてから、おかけ直しください。

電話番号	携帯電話・プッシュ回線から **＃8000** ダイヤル回線から **055-226-3369**
利用時間	平　日　午後７時～翌朝７時 土曜日　午後３時～翌朝７時 日曜日（祝日）　午前９時～翌朝７時

TEL

③「小児初期救急医療センター」を利用する。

休日・夜間の急病時に小児科専門医が対応します。

※予約の必要はありませんが、症状によっては初期救急では対応できない場合もありますので、あらかじめ電話で確認してください。
※急病時の応急処置を行うためのもので、確定診断はできません。翌朝、または休日明けに必ずかかりつけ医を受診してください。
※薬の処方は１日分となります。

甲府センター		富士・東部センター
■平日夜間（毎日）午後７時～翌朝７時（受付／～翌朝６時30分） ■土曜日　午後３時～翌朝７時（受付／～翌朝６時30分） ■休日（日曜、祝日、年末年始 12/29 ～ 1/3）午前９時～翌朝７時（受付／～翌朝６時30分）	診療時間	■平日夜間（毎日）午後８時～深夜０時（受付／午後７時30分～午後11時30分） ■土曜日　午後３時～深夜０時（受付／午後２時30分～午後11時30分） ■休日（日曜、祝日、年末年始 12/29 ～ 1/3）午前９時～深夜０時（受付／午前８時30分～午後11時30分）
甲府市幸町14-6 甲府市地域医療センター内 **055-226-3399**	場所・連絡先	富士吉田市緑ヶ丘２丁目7-21 富士北麓 総合医療センター 2F **0555-24-9977**

「こども救急ガイドブック」

日本小児科学会ホームページ「こどもの救急」

頭部打撲・やけど・誤飲・骨折等の症状の時

※外科的疾患は小児初期救急医療センターでは対応できません。
①「こども救急ガイドブック」を利用する。
②日本小児科学会ホームページ「こどもの救急」を参考にする。
③受診が必要な場合は、地域ごとに受診医療機関が異なるため、下記に問い合せる。

対象：甲府市在住の方（毎日 23 時～翌 8 時 30 分及び休日 8 時 30 分～ 18 時のみ）
▶▶▶ 甲府市医師会救急医療センター **055-226-3399**

対象：上記の地区以外の在住の方
▶▶▶ 山梨県救急医療情報センター **055-224-4199**

こんな症状の時 119番に電話して！

- 意識が戻らない
- 激しい痛みが続いている（頭痛、腹痛、胸痛）
- けいれんが５分以上止まらない
- 出血が激しく止まらない
- 苦しそうな呼吸をしている

作成：山梨県小児救急医療事業推進委員会（事務局：山梨県医務課内）

お子さんの急な病気やけがで心配な時は

山梨県小児救急でんわ相談

＃８０００番 をご利用ください

☆ 小児救急でんわ相談（＃８０００）は、保護者の方が、休日・夜間のこどもの症状（ケガを含む）にどのようにおうちで対処したらよいのか、病院を受診した方がよいのかなど判断に迷った時や、受診の目安などを看護師に相談できます。

☆ ＃８０００は全国同一の短縮ダイヤル＃８０００をプッシュすることにより、お住まいの都道府県の相談窓口に自動転送されます。山梨県のダイヤル回線は 055−226-3369 となります。

☆ 山梨県の＃８０００では病院案内は行っておりません。内科的な症状で受診をご希望される方は甲府小児初期救急医療センター（055-226-3399）または、富士・東部小児初期救急医療センター（0555-24-9977）へ直接お掛けください。

☆ 慢性疾患や育児相談など、急を要しないご相談はご遠慮ください。電話での助言であり、診断・治療はできませんのであらかじめご了承ください。話し中の場合は、恐れ入りますが少し時間をおいてからお掛け直しください。

☆ こどもの「かかりつけ医」は、風邪や急な体調不良の診療に加え、予防接種、乳幼児健診、育児相談まで総合的に相談できる身近で頼りになる医師です。処方されたお薬（特に解熱剤や吐き気止め、けいれん止め、ぜんそく発作時の吸入薬など）や余ったお薬はどんな時に使ったら良いかを相談したり、夜間・休日の小児初期救急センターを受診する目安なども聞いておくと良いでしょう。また、救急受診した翌日・休日明けはかかりつけ医を必ず受診しましょう。

☆ 山梨県では「こども救急ガイドブック」を作成し、よくある症状（熱・嘔吐・下痢・腹痛・咳・ぜんそくの発作・頭を打ったなど）をとりあげ、家庭でできることや救急外来を受診するかどうかの目安についてガイドブックに分かりやすくまとめてあります。
小児救急を利用しようと思った際にはぜひご活用ください。

＊こども救急ガイドブックは、以下のQRコードから検索可能です。

＊山梨県「こども救急ガイドブック」

＊日本小児科学会ホームページ「こどもの救急」

山梨県 ＃8000 相談室